

東京工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	ベンチャー起業論 (2022年度以降入学生用科目)
科目基礎情報					
科目番号	0068	科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	機械情報システム工学専攻	対象学年	専2		
開設期	後期	週時間数	2		
教科書/教材	スライド資料, 配布資料				
担当教員	山下 晃弘, 原口 大輔				
到達目標					
<p>スタートアップ事業を企画し、ベンチャー企業を立ち上げることを想定して、ベンチャー企業の経営に必要な基本的な知識を学び、会社の仕組みや資金に関する大まかな全体像を理解する。          新規事業の事業計画を作るための基本的な知識を学び、ならんらかの事業を想定して具体的な事業計画書を試作してみることによって企業におけるステークホルダーの存在や資金の流れを理解する。          実際の企業の経営者や技術者の講演を聞き、様々な業界における新規事業の立ち上げや経営の事例を学ぶことで、実社会におけるビジネスのイメージを構築する。          これまで学んだ知識や技術を生かし、社会的な意義や持続可能な社会への貢献を常に意識して新しい社会のあり方やビジネスを考えることができるアントレプレナーシップを育成する。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (C評価)	未到達レベルの目安	
ベンチャー企業におけるステークホルダーの存在を理解し、資本や株式の基本概念を説明できる。	ベンチャー企業におけるステークホルダーの存在を理解し、資本戦略の基本的な考え方を理解して自ら検討することができる。	ベンチャー企業におけるステークホルダーの存在を理解し、資本戦略の基本的な考え方を説明できる。	ベンチャー企業におけるステークホルダーの存在を理解し、資本戦略の概念を理解している。	ベンチャー企業におけるステークホルダーの存在や、資本戦略の概念を理解できていない。	
ベンチャー企業に関係するファイナンスの基本を理解し、財務諸表の基本概念を説明できる	ベンチャー企業に関係するファイナンスの基本を理解し、自ら財務諸表の概要を読み取ることができる。	ベンチャー企業に関係するファイナンスの基本を理解し、財務諸表の基本的な考え方を説明できる。	ベンチャー企業に関係するファイナンスの基本を理解し、財務諸表の概念を理解している。	ベンチャー企業に関係するファイナンスの基本事項を把握できておらず、財務諸表の概念を理解できていない。	
スタートアップ事業を立ち上げることを想定して事業計画を考え、計画書としてまとめることができる	自らがスタートアップ事業を立ち上げることを想定して様々な観点で事業計画を考え、計画書としてまとめることができる。	自らがスタートアップ事業を立ち上げることを想定し、定型的な事業計画書としてまとめることができる。	自らがスタートアップ事業を立ち上げることを想定し、事業計画書の概要をまとめることができる。	スタートアップ事業を立ち上げる際の検討事項を把握できておらず、事業計画書の概要についてもまとめることができない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	近年、様々な分野における技術開発スピードの加速やICT技術の発展に伴い、ベンチャー企業のみならず大企業においても新規事業の立ち上げに必要な基本スキルや発想が重要になってきている。本講義では、新規のスタートアップ事業を立ち上げてベンチャー企業を設立することを想定し、ベンチャー企業の立ち上げや経営に必要な資本戦略やファイナンスの基本事項について学ぶとともに、自ら事業計画書の作成を経験することでアントレプレナーシップとして必要な基本スキルを学ぶことを目的とする。また、実際の企業経営者や技術者の講演を聞くことで、実際のビジネスに対するイメージを構築し、将来社会に出てビジネスを行う際の基本的な考え方を身につける。なお、本講義は、ベンチャー企業の経営に携わった経験がある教員が、その経験を活かしてベンチャー企業の経営に関する講義・演習を授業として行うものである。				
授業の進め方・方法	座学講義を基本とし、グループワークによる事業計画書の作成などを行う。また、外部講師の方による講演を複数回行い、実際ビジネスにおける具体的な事例について考察する。				
注意点	講義の中で各自調査などを行うことがあるため、ノートパソコンやタブレット端末を所有している場合は持参することが望ましい。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	1週	講義ガイダンス 起業とはどういうことか、起業が求められる社会的な背景とリスク	持続可能な社会の実現に向けた世界的な動きに関心を持ち、その中でベンチャー企業に求められている社会的な背景を理解して、起業の具体的なイメージを持つ		
	2週	【企業講演1】 起業経験者による講演。起業の実体験及び起業の意義や目的など	実際に企業を運営されている方の講演を聞き、ベンチャー企業や経営の実例に基づいて理解を深める。		
	3週	企業と株式と投資家 主要なステークホルダー。ベンチャーキャピタルやエンジェルからの投資と目的	企業に関係するステークホルダーの存在を理解し、資本政策の概要を理解する。		
	4週	ストックオプションと資本政策 スタートアップ事業立ち上げ時に資本政策を考えておくべき理由	企業が成長する上で必要となる資本政策の基本的な考え方を理解する。		
	5週	スタートアップ事業とファイナンス1 企業価値と株価の設定	投資家などが企業の価値を判断する際の考え方や株価について理解する。		
	6週	【企業講演2】 企業経営者や技術者の外部講師の方にご講演いただく	企業経営者や技術者の外部講師の方の講演を聴講し事例に基づいて理解を深める。		
	7週	スタートアップ事業とファイナンス2 事業計画を考えるうえで必要となるB/S, P/L, C/Sの基本概念	企業ファイナンスの基本となる財務諸表の基本的な考え方を理解し、財務三表の構成や考え方を理解する。		
	8週	【企業講演3】	企業経営者や技術者の外部講師の方の講演を聴講し事例に基づいて理解を深める。		

4thQ	9週	ビジネスと特許 スタートアップ事業における特許戦略の重要性	ベンチャー企業の経営に必要な特許戦略の考え方を理解する。
	10週	【企業講演4】	企業経営者や技術者の外部講師の方の講演を聴講し事例に基づいて理解を深める。
	11週	事業計画書の作成ワークグループ1 事業計画書（ビジネスプラン）作成に向けたガイダンス、テーマ決め	グループで新規事業を立ち上げることを想定し、グループワークとして事業計画書を作成する。初回は、テーマを決めて事業の概要を把握することを目標とする。
	12週	事業計画書の作成グループワーク2 ビジネスプランを掘り下げる（市場規模、競合、価格設定）	グループで新規事業を立ち上げることを想定し、グループワークとして事業計画書を作成する。2回目は具体的なビジネスプランをまとめることを目標とする。
	13週	事業計画書の作成グループワーク3 財務諸表を作成してみる（起業後向こう5年間の売り上げとキャッシュフロー）	グループで新規事業を立ち上げることを想定し、グループワークとして事業計画書を作成する。3回目は具体的な状況を想定して財務諸表を作成することを目標とする。
	14週	事業計画書の作成グループワーク4 ビジネスプランのプレゼン資料作成（仮想ピッチング）	グループで新規事業を立ち上げることを想定し、グループワークとして事業計画書を作成する。4回目はこれまで考えてきたビジネスプランの発表資料を作成する。
	15週	事業計画の発表会	グループワークとして作成したビジネスプランに関する報告会を実施する。また、自分のチームや他のチームが考えた事業について社会的な意義についても考察する。
	16週		

#### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
<b>評価割合</b>							
	レポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	100	0	0	0	0	0	100